

一般質問



江 安 議 員

一、小中学校の統廃合問題について 二、原子力防災について

質問

一、(1)過去に保護者から複式学級解消の要望は出されていたか。(2)複式だから学力が低い、社会性がない等の教育学的問題を指摘された事実はあるか。(3)昭和48年9月、文部省から公立小中学校の統合についての通達が出ている。どのような内容か。(4)教育委員会の説明会で「小規模校としてあった方が好ましい場合もあることに留意する」という説明はされたか。

二、(1)訓練でどのような課題があったか。(2)市の案では、原則自主避難としている。今回の避難の5千100人は、どのような状況の方を想定か。

(3)在宅寝たきりの方等は、どのようにして、避難所に来るという想定か。

(4)入院、入所の方は、原則その施設で避難だが、各々の施設が単独で30キロ圏外に行けると考えるのか。

(5)国による消防の整備指針はどうか。

(6)中央診療所からの参加はどうか。

(7)訓練をどれだけ上手に行っても、原発がある限り事故は起こる。原発を稼働させない事が最も安全な道と考えるが、九電に対して廃炉を求める考えは。

(8)安全協定締結の状況はどうか。

答 弁

一、(1)教育委員会に複式学級解消についての要望は出されていません。

(2)詳しい検証はしていません。

(3)小学校を小規模校として存置し、充実するほうが好ましい場合もあることに留意する、十分に地域住民の理解と協力を得て行うというような内容です。

(4)小規模校のよさを十分考慮しながら総合的に判断して進めていきたいという説明をしました。

二、(1)地域防災計画の中で避難先を決定し、どうやって素早く避難をするかというのが大きな課題です。

(2)体の不自由な方、高齢で運転ができない方、交通弱者の方等です。

(3)地域支援グループが要支援者の方たちを移動させるような計画です。

(4)基本的に施設管理者の方が考えなければならぬと思っています。

(5)松浦市消防本部としては、110名とというのがその指針に示された数字です。

(6)調整等に時間が足りず、訓練参加はできませんでした。

(7)減原発から脱原発の方向性へ向かうのが望ましい姿じゃないかという思いです。

(8)長崎県において精力的に締結に向けた話をして頂いております。

一般質問



武 辺 議 員

一、元寇船発見に対する今後の取り組みについて 二、小中学生のネット利用の現状と対策について

質問

一、元寇船発見は考古学にとどまらず、当時の造船技術、元や日本の軍事力等を知る上でも大変貴重なものですが、この発見をどういった方面にどうやって生かしていくのが課題だと思っています。

(1)船体発見後、県や国にはどのような働きかけをされましたか。

(2)今後は引き揚げも視野に入れたハード、ソフト両面の整備が必要だと思っています。短期的、長期的取り組みにはどんなものがあるとお考えですか。

(3)テレビの全国ニュース、新聞の一面、ネット上でも大々的に取り上げられましたが、観光物産課としてはどのような取り組みをお考えですか。

(4)星鹿町の海岸線には手付かずの防塁や遺構等があるのではないかとされています。そういったものを掘り起こして整備する考えはありますか。

二、(1)小中学生のネット利用の経験率とその内容をお知らせ下さい。

(2)情報モラル教育をどのように進めていますか。

(3)保護者のネットに対する知識不足や危機意識の欠如が問題視される中、フィルタリングの重要性の周知はどうされていますか。

答 弁

一、(1)県の学芸文化課より、今後は市の意向を聞きながら連携をとり、対応を考えるとの話を頂き、国への対応にも、県が窓口となって頂けるとのことでした。

(2)池田教授の研究状況を見守りながら、先生の意見、調査指導委員会、また、国及び県と十分協議して、保存・管理の計画を検討したい。

(3)鷹島の道の駅に元寇船発見の島鷹島という大きな横断幕を張るようにはしており、また、教育委員会の協力も頂き、歴史民俗資料館にパネルの展示と映像等を流し、モンゴル村にもパネルを展示する予定です。

(4)教育委員会等と情報を共有し、今後の観光資源として扱うためのいろんな創作を一緒に行いたい。

二、(1)小学校低学年で29%、高学年で48.6%、中学校は62.8%で、内容はホームページ閲覧、音楽のダウンロード、ネットオークション等です。

(2)授業の中で発達の段階に応じた指導をしています。

(3)すでに各学校で取り組まれておりますが、更にいろんな事例も紹介し、具体的な取り組みの啓発が必要だと考えております。